

# 総合型選抜 2022 年度過去問題 児童教育学科

次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

「どろんこ保育」の理念を形にした建物

保育園の設計の機会を与えてくれたのは、「こどもの国」の仕事で知り合った厚生省の造園技官の伴典次郎さんと保育専門官の高城義太郎さんだった。お二人に遊具研究会という委員会に誘われ出会ったのが、塩川寿平さんである。彼はその後、保育環境論の第一人者となるが、当時は若手の保育学者で、実家は保育園を運営されていた。その縁で、新しい園舎の設計を依頼された。

彼のお母さん、塩川豊子先生が始めた保育園は、「どろんこ保育」「大地保育」というユニークな保育理念をかかげ、戦後、馬小屋や米蔵を改造して始めた野中保育園だった。もともと大規模農家だった塩川家は、小作人のこどもたちのために、馬小屋を保育所代わりに使っていたそうだ。

豊子先生は、自由学園の羽仁説子さんに影響を受け、「太陽と水！ 裸とドロコ！ 原始に戻った自然の中で！」をモットーとする「大地保育」の提唱者となった。私が野中保育園を初めて訪れた当時、広い農地の中に米蔵と馬小屋を改装した園舎がまだ残っていた。

寿平さんは私と年齢が近く、また、同じようにこどものあそび環境が減っていくことに問題意識と危機感をもたれていたこともあり、理想の保育園づくりについて、自然と話が盛り上がっていった。

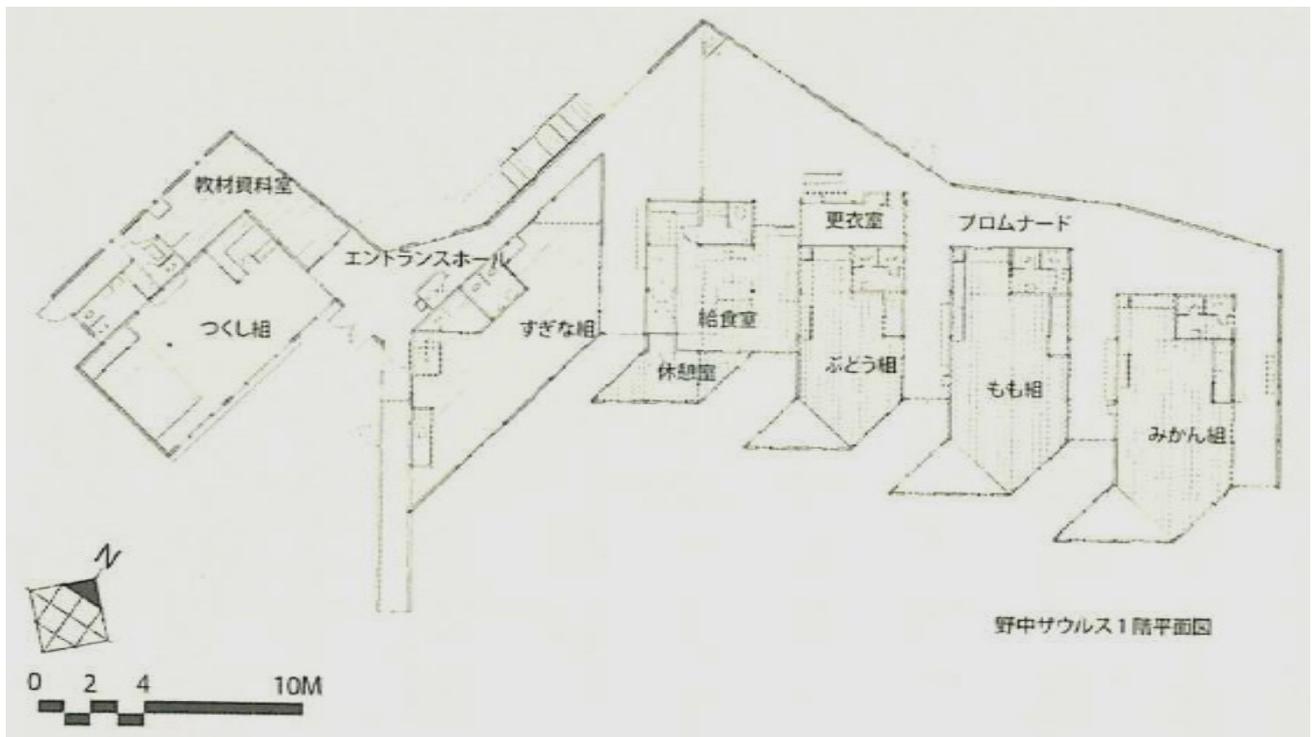
豊子先生は「朝、こどもたちが園に来る前に保育園におもちゃをぶちまけておいた日と、そうでない日ではこどもたちの動きは違います」と言った。私は彼女から聞いたその話を今でも鮮明に覚えている。おもちゃをぶちまけておいた日は、園児たちは朝から活発に動きまわり、あそびまわるというのだ。

確かに、こどもたちが好きな野山も同じである。自然の中に行くと、どんぐりが落ちていたり、棒切れが落ちていたり、それを目で見えて感じて、何をしようかなということを自分で考えていく。だから、それらを整理する必要はないのだ。私はこどもたちの行動を観察することによって、建物を設計する手法を、豊子先生から学ばせてもらった。

野中保育園の園舎を設計するにあたり、ここにある自然環境をできるだけ残し、活用すること、豊子先生が提唱する「どろんこ保育」という理念を活かした建物にしようと考えた。

そして、私は、1年間ほど現地に通って観察と体験を重ねさせてもらった。その結果、園舎は大地にできるだけ近づかせ、大地に低くかがむような建築の形態を考えた。園の玄関からは、なだらかな勾配をもって下がっていくが、建物を低くしたため、その正面には美しい富士山を望むことができる。周辺の緑の環境を意識して外観を緑色に塗った。こどもたちが「ノナカザウルス」と命名してくれた。

実は最初に寿平さんから、3階建ての園舎のスケッチを渡された。寿平さんはできるだけ庭の広がりを守りたかったのだ。しかし、私は「それでは美しい富士山が正面から見られなくなる」と説明し、結果、平屋建て一部2階建ての園舎が実現した。



仙田満『人が集まる建築 環境×デザイン×こどもの研究』講談社現代新書、2016年、p.107。

内部でも外部でもない「第3の空間」や、明確な機能を持たない「すきま」、アジール的な「へそまがりの空間」、ほかにもこどもの突飛な行動を引き出すための「舞台」、呼びかけの装置としての「テラス」など、さまざまな工夫を凝らした。

こどもたちのあそびを自然と喚起する場をちりばめた成育環境をつくるために、当時の私がおもっていた建築的工夫の限りを尽くすことができたと思う。

こどもは混乱している空間を好む

野中保育園には、いわゆる廊下というものがない。その代わり、天井の下の部分にアスファルトの室内化されたプロムナードと呼ぶ道がある。そしてそれと循環して中2階をつなぐスカイウェイと呼ぶ小道もある。プロムナードは、狭いところもあれば、広いところもあって変化に富んでいる。

この大きな立体的な循環動線に保育室がブランチされている。保育室はヒノキの床と白いベニヤの壁、プロムナードは赤い壁に黒いアスファルトの床。刺激的でワイルドな空間をイメージしてデザインした。下の道の広がったところが舞台のある広場になっており、お誕生会等のいろいろな催しに使われる。上の道からは階段や滑り台によって動線をショートカットすることができる。

保育室の周りは路地になっており、こどもたちは駆け回ることができる。上の道から保育室に降りるには階段、滑り棒、段状の押入などがあり、こどもたちが飛び降りることもできる。保育室にはこどもたちが隠れることのできる「すみっこ」がある。

構造が軽量鉄骨造りに木仕上げという建物の柔らかさもあるが、少々危ないことをさせなければ健全に育たないという「どろんこ保育」を実践している豊子先生をはじめ、保育さんの意見を反映して、飛び降りる、滑り降りる、もぐる、ぶらさがる所を随所につくることができ、めまい体験のできる構造になっている。

大地から建築まで、すべてを“巨大遊具”としてとらえ、こどもたちが思う存分あそび回れるエネルギーな空間になったと思っている。

こどもはなぜか、すみっこ、はしっこが好きである。大勢で動き回っているかと思えば、一人でじっとしていたい時もある。体が入るだけの小さな空間は胎内の記憶か、こどもにとって心地よい

ものなのである。曲がりくねった廊下、バルコニー、屋根裏、階段、舞台、橋、天窗をつくった。

高い所、低い所、狭い所、広い所、明るい所、暗い所、軟らかい所、硬い所、さまざまに相反するところがこどもは好きだ。従来、死角のない空間をつくるというのが保育園の基本であったが、この保育園には、死角がたくさんある。こどもたちにとっては保母さんから眼の届かないほうが面白い。立体的なデザインを施したが、建物自体は基本平屋建てなので、危険を感じたこどもが助けを求める声はよく通るようになっている。

40年以上前に生まれた野中保育園の環境は、昔も今もほとんど変わっていない。8000 m<sup>2</sup>のゆるい傾斜地の中には、柿の木はじめさまざまな立木が茂り、小川が流れ、水がたまり、ブタ、ウサギ、イヌ、ネコが育ち、建物と人と物がせめぎあっている。広い庭に、園舎、陶芸の小屋、プール、平らな広場だけでなく、マラソンコースと呼ぶ坂道の多い一周 150mの園路などもある。

中でもユニークなのは、どろんこあそびの場である。こどもたちはまさにどろだらけになってあそぶ。ここでは、こどもたちの心も体も解放されている。

どろんこあそびをした後のシャワーと浴室の空間を建設当初プロムナードの中央に設置してみた。しかし、ドロ場から遠いということで、この機能は外の別の場所につくられ、今は倉庫になってしまったが、その上はスカイウェイの小さな広場を形成している。お誕生会などイベントのための2階席の役割もはたしている。

### 「名のないあそび」を生み出しやすい園舎と園庭

1972年に野中保育園が竣工してから10年後、私は「野中丸」と名付けられた園舎の増築を手がけた。保育室の隔壁が可動で、小さな体育館や劇場にも変えることができる。ここでは、「みんな一緒にあそべる環境」「みんなが楽しい環境」の形成が求められた。ノナカザウルスのスロープの反対側に階段をつけることによって、ノナカザウルスの南側の庭と野中丸の園庭をつなぎ、遊環構造の規模が一気に拡大された。

野中保育園の「大地保育」という明確なコンセプトもあり、こどもたちは、設計者の私が驚くような面白い空間の使い方をする。改めて「体育をしましょう」と言わずとも、階段を登ったり、下りたり、もぐったり、跳んだりして、自然と体全体の筋肉があそびのなかで鍛えられているようだ。

もちろん、元気な体だけではなく、素晴らしい感性も育っている。

こどもにとって、絵を描くことは特別の学習ではない。描いてみたいから描くのである。ロウ石で道路にえんえんと絵を描いた経験を、多くの人が持っているだろう。

心理療法の一つに、木の絵を描かせて、その心理的な状況を判断する手法があるが、絵はまさにこどもたちの今を表しているように思う。

こどもたちの内的なエネルギーを自由に発散させると、本当に感動的な絵になる。野中保育園のこどもたちの絵を見て驚く。美しい絵というのではない。たくましい絵、元気な絵、爆発的な絵ばかりなのだ。園舎の大きな扉には、のびのびとしたこどもたちの絵が拡大されている。

野中保育園の園児はみんな、ものすごい芸術家たちだ。絵の具に夢中だ。それはきつと、広大な敷地の中でたくましく、猛烈にあそんでいるからに違いない。

普通、保育園、幼稚園時代から、小学校、中学校へと進むにしたがい、面白さはなくなり、写実的になっていく。野中保育園を卒園したあの小さな芸術家たちはどうなっていくのかとも興味がある。

豊子先生亡き後、長男の寿一さんと弟の寿平さんが「大地保育」の理念を継承している。実践保育学者の「名のないあそび」論はおもしろい。ここでは「〇〇あそび」という伝統的な名前がついたあそびではなく、こどもたちが発見し、発明するあそびが多い。それを寿平さんは「名のないあそび」と言っている。この野中保育園の環境はそのような「名のないあそび」をたくさん生み出しやすい園舎と園庭の環境なのだ。

仙田満『人が集まる建築 環境×デザイン×こどもの研究』講談社現代新書、2016年、p.104-112。

問 あなたは、課題文で登場する「野中保育園」で、5歳児クラスの担任として勤めることになりました。保育者として、どのような点に留意し、子どもたちとどのような活動をしていきたいと考えますか。あなたの考えを800字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。